

## 【腎臓内科学分野】 腎臓・高血圧内科

私たちの分野では、腎臓病や高血圧の診療と研究に取り組んでいます。腎臓というと「尿をつくる臓器」というイメージがあるかもしれませんが、しかし、腎臓にはそれだけでなく、尿をつくって体の余分な水分や老廃物を排泄することで、水分量や電解質（ナトリウムやカリウムなど）のバランスを保つ大切な役割があります。普段はあまり意識することはありませんが、例えば体の水分が不足すると尿を濃くして水分を逃がさないようにしたり、塩分をとり過ぎると余分な塩分を排泄したりするなど、腎臓は体の状態に合わせて精密な調節を行っています。高血圧にはさまざまな原因がありますが、腎臓の働きがうまくいなくなることも大きな原因の一つです。実は、腎臓病も高血圧も初期には自覚症状がほとんどないことが多く、気づかぬうちに進行してしまうことがあります。そして、一度大きく障害を受けた腎臓を完全に元の状態に戻すことは、現在の医療でも簡単ではありません。そのため、病気を予防することや、早い段階で見つけて治療を始めることがとても重要です。私たちの教室では、病気を予防する研究に加えて、傷ついた腎臓を回復させる新しい治療法の開発など、未来の医療につながる研究にも積極的に取り組んでいます。

オープンキャンパス当日は、腎臓や高血圧のしくみ、血圧測定の体験、そして最先端の研究についてご紹介する予定です。東北大学医学部2号館6階で、皆さんをお待ちしています！